

第54回新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事概要

- 1 日時：令和4年2月18日（金） 15時30分～16時
- 2 場所：本庁3階 第三会議室
- 3 出席者：資料席次表参照
- 4 議事概要

（1）新型コロナウイルス感染状況等について【保健福祉局】

[感染症対策担当局長]

・感染状況・療養状況の分析

感染者数は、先週1週間に比べやや減少したが、日々400人程度の感染者が発生している状況。療養者は増加。大半は、自宅療養者だが、入院者も増えている。

・感染者の推移、療養状況

感染者数は、2月5日の872人がピーク。感染者の発症日別データでは、1月31日をピークに減少傾向となっており、市内の感染状況は、ピークを過ぎたものと考えるが、日に300人から400人程度の患者が発生しているため、注意が必要と考えている。療養者は現在のところ全体で3000人を超えている。

・感染者の年代の比較

2週間毎のデータでは、当初、20歳代を中心に感染が拡大していたが、徐々にすべての世代に広がっている。特に、中学生以下、高齢者への感染が目立つ。

令和3年12月までの感染者のうち高齢者は11.2%、1月以降の高齢者の割合は9.8%と減少しているが、感染者数が多いため、1か月半で、12月までの高齢者の感染者を超えている。このため、高齢者は基礎疾患がある方も多く、感染することで入院となる可能性が高いため、医療提供体制への影響が懸念される。

・クラスターの発生状況

1月以降、高齢者施設等で22件、保育幼児施設、学校で26件と急増している。

高齢者施設等でのクラスターは、まずは、従業員の方が感染し、施設に持ち込むことにより発生している。職員の方は、今一度、少しでも症状があれば、仕事を休み、医療機関を受診するよう徹底してもらいたい。

また、施設管理者の方には、改めて、施設内であっても感染防止対策の見直しをしてもらいたい。例えば、マスクをきちんと顔にフィットさせて着用するなど、徹底してもらいたい。

・新型コロナワクチンの小児接種について

まず接種の対象は、5歳から11歳。ファイザー社製の小児用ワクチンを使い、合計2回接種する。接種間隔は3週間。

接種券は、2月末時点で、5歳から11歳の約44,000人に、3月7日（月曜日）に一括発送する。なお、発送日以降に5歳になる人は、5歳到達月の翌月上旬に順次発送

する。

接種券が届き次第、予約が可能。予約方法は12歳以上の接種同様に、県共通予約システムもしくは各医療機関に直接予約してもらうことになる。

接種開始は3月11日（金曜日）とするが、医療機関によっては多少日にちがずれる可能性があるので、確認のうえ接種してもらいたい。

市の集団接種会場での接種は実施しないが、小児科を中心とした市内およそ90箇所で行う。接種可能な医療機関のリストは3月1日更新の市ホームページに掲載予定。また、重症化リスクの高い対象者が利用する一部の医療機関においては、3月4日（金曜日）から限定的に接種を実施する予定としている。

オミクロン株の流行において、岡山市でも感染者全体に占める子どもの割合は増えている。岡山市では市内全域で接種できる体制を整えているので、ワクチン接種について、保護者の方はお子さんとぜひ接種を検討してもらいたい。

・3回目接種の現状について

これまでに28万8000人に接種券を発送している。2月18日の時点で、接種完了は約13万8000人。これは接種券送付済みの人のうち47.9%、市内全体の人口では19.5%にあたる。

また、教育活動の継続のため、教職員等への積極的接種が政府の方針として示されている。岡山市では3回目の接種券を前倒して送付することに加え、1・2回目接種時に、教職員、保育士、幼稚園教諭に先行して接種実施したため、教職員への接種は比較的順調に進んでいるものと考えられるが、現場での感染状況が深刻なこともあり、特別枠の確保、現場への周知徹底により、更に接種を推進しているところである。

・今後の見通しについて

今後、徐々に64歳以下への予約・接種が本格化すること、そして小児接種も始まることから、予約が取りにくくなることも想定される。重症化リスクの高い高齢者の接種は現時点で約5割に留まっている。

接種を行っている医療機関の関係者に聞いたところ、オミクロン株が重症化する割合が低いことや、副反応が気になる、接種していても感染する事例があるなどを気にして躊躇している人が多いのではないかとのことであった。ただ、未接種の人が重症化して例もあるので、ファイザー、モデルナいずれのワクチンも重症化予防に高い効果が示されていることから、ぜひ積極的な接種をしてもらいたい。

手元に接種券が届いた方は、すぐに接種ができるので、通常の社会生活を一刻も早く取り戻すためにも、速やかに予約と接種をしてもらいたい。

[市長]

資料の6ページで、進捗率47.9%（接種券の送付済人数対比）とあり、その下に【参考】67.6%（1月31日までの接種券送付済人数対比）となっているが、この「1月31日

までの接種券送付済」は高齢者だけで、医療関係者等に接種券は送っていないのか。

[感染症対策担当局長]

医療関係者にも接種券は送っている。

[市長]

分母は医療関係者及び高齢者となって、接種が終わっている人が 67.6%ということか。それでは、上の 47.9%の分母はどうなるのか。

[感染症対策担当局長]

2月15日時点で発送した人と、1月31日、1月15日に発送した人の計28万8000人のうちに13万8000人が接種を受けているということで47.9%という数字になっている。

[市長]

進捗率ではどうか。

[感染症対策担当局長]

高齢者だけでは約5割となる。

[市長]

5割というのは高齢者全体を分母とした数字か。

[感染症対策担当局長]

65歳以上の方全体である。

[保健所長]

各局からの多大な協力を厚くお礼申し上げます。

年齢層では子どもと老人の感染者が増えているが、幸いそれぞれの年齢階層でも、発病時期を見るとピークアウトをしている状況である。ただ、相変わらず多数の患者が出ており、依然として保健所だけでは対応しきれない状況が続いているので引き続きのご支援をお願いします。

(2) 岡山駅前における人流動向について【政策局】

[政策局長]

この4週間、全体として人流は減少しているが、先週は多少増えている。

(3) 岡山市主催行事等の開催に関する方針について【危機管理室】

[危機管理監]

まん延防止等重点措置が延長される見込みとなったことを受けて、2月20日までとしていた現行の開催制限を、まん延防止等重点措置が適用される間、これは3月6日までの見込みとなっているが、それまで延長したい。

(4) 保育園等の対応について【岡山っ子育成局】

[岡山っ子育成局長]

保育所等の状況だが、全体 239 施設、これは公私立認可保育園、認定こども園、地域型保育事業所、市立幼稚園の総数になるが、そのうち直近の 2 月 17 日現在では全休園が 0、クラス閉鎖等が 10 施設となっている。

今後の対応としては、未就学児の感染者の症状はほとんどが軽症であり、クラス休園等について減少傾向であるため、保護者の就労確保等社会生活を維持する観点から、引き続き感染防止策に努めながら原則開園とする。また、園内で感染者が確認された場合は必要に応じて、家庭保育協力依頼、クラス閉鎖、休園等の対応をとる。

[市長]

これは 2 月 12 日が過去最大のクラス閉鎖等があったということで、現状では減少傾向であるという理解でいいか。

[岡山っ子育て局長]

はい。

5 本部長まとめ

発症日ごとの感染者数は、1 月 31 日をピークに減少傾向がみられ、感染者の発生はピークを過ぎたと考えられる。しかし、新規感染者は日々 300 人を超え、学校や保育園等で多数のクラスター感染が発生している。また、複数の高齢者施設でクラスター感染が発生するなど、重症化リスクの高い方の感染が増加していることから、病床使用率は 5 割を超え、油断できない状況になっている。

市民のみなさん、特に高齢者の方は、引き続きマスク、手洗い、3 密の回避など基本的感染防止対策の徹底をお願いする。また、少しでも症状があれば、迷わず医療機関を受診してもらいたい。

皆さん方のご理解とご協力により、ワクチンの 3 回目接種が進んでいるが、市民全人口ではまだ 2 割弱、重症化リスクの高い高齢者でも 5 割程度の進捗となっている。

医療関係者からワクチン接種についての市民の考え方について聞いたところ、オミクロン株は重症化する割合が低いということで若干安心している人がいることや、副反応を気にして接種をためらっている人がいるということであった。

しかしながら、重症化の中には未接種の方がいるということも報告されている。

ワクチン接種は、重症化予防や入院予防に対して高い効果が示されているところであり、是非積極的な接種をお願いしたい。

集団接種会場の予約も徐々に埋まってきている。接種券が手元に届いた人は、早めの接種予約をお勧めする。

学校や保育園等でも、多数のクラスター感染が発生している。子どもたちの感染拡大に対する取り組みが必要である。5 ～ 11 歳のワクチン接種については、接種券は 3 月 7 日（月）に発送する。市内およそ 90 の医療機関で 3 月 11 日（金）から接種を受けることができる。接種券が届き次第、予約が可能なので、保護者とお子さんで接種についてご検討してもらいたい。

子どもたちと接する教職員や保育士、幼稚園教諭の皆さんは、1・2 回目の接種も早く済ませて

おり、3 回目の接種券が届いている方も多いと思っている。

また、住所地が市外で、岡山市内に勤務する教職員等も多くいるが、その方々のために接種券なしで接種可能な枠を2月中に1,000人分、集団接種会場に確保している。

子どもたちを感染から守るため、また教育・保育の機会を確保するためにも、早めの3回目接種をお願いしたい。